

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シティーホームセントリック南11条 新築工事	階数	地上5階
建設地	中央区南11条西11丁目1262-5ほか	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域/第一種住居地域	平均居住人員	112 人
建物用途	集合住宅	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2020年6月 竣工	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	1,021 m ²	評価の実施日	2019年12月20日
建築面積	501 m ²	作成者	
延床面積	2,194 m ²	確認日	
		確認者	
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	
BEE = 0.9 ★★★★ B-		30%: ★★★★★ 60%: ★★★★ 80%: ★★★ 100%: ★★ 100%超: ★	
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★			
		標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の オンサイト手法 ④上記+ オフサイト手法	
		このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです (kg-CO ₂ /年・m ²)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート) 2-4 一次エネルギー消費量の評価 建物全体の[BEI][BEIm]= 1.03
2-5 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質	Q のスコア= 3.1		
Q1 室内環境	Q1のスコア= 3.1	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
	3.1		3.4
			Q3のスコア= 2.8
LR 環境負荷低減性	LR のスコア= 2.7	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.7		LR2のスコア= 2.6 	LR3のスコア= 2.9
3 設計上の配慮事項			
総合	効率的な設備システムを導入し、地球温暖化防止へ配慮している		
A 省エネルギー	A のスコア= 2.7		
	・住居部: カーテン、庇でグレアを制御		
B 省資源等	B のスコア= 2.7	C 緑化	D 雪処理
・外壁、内装材、配管等、耐用年数の長い部品部材を採用している ・LGS下地の採用等、建物のリサイクル性に配慮している		・外構緑化を行う	・ロードヒーティング設備を設けている
4 ほかの認証・評価制度の利用			
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用		LEED認証	なし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4) (仮称)シティーホームセントリック南11条 新築工事		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)					
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分 評価点	住居・宿泊部分 評価点	全体 重み 係数
配慮項目	評価点		重み 係数	評価点			
Q 建築物の環境品質							3.1
Q1 室内環境				0.40		-	3.1
1 音環境				3.0	0.15	3.3	1.00
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50
1.2 遮音				3.0	0.50	3.6	0.50
1. 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30
2 界壁遮音性能		L-45			-	3.0	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		L-45			-	4.0	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		L-45			-	5.0	0.20
1.3 吸音					-	-	-
2 溫熱環境				2.0	0.35	2.6	1.00
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50
1 室温				3.0	0.63	3.0	0.63
2 外皮性能	省エネ			3.0	0.38	3.0	0.38
3 ゾーン別制御性					-	-	-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20
2.3 空調方式				1.0	0.30	3.0	0.30
3 光・視環境				2.8	0.25	3.7	1.00
3.1 昼光利用				3.6	0.30	3.4	0.50
1 昼光率		エントランスホール:2.3 住戸:4.1		4.0	0.60	5.0	0.50
2 方位別開口					-	1.0	0.30
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	0.40	3.0	0.20
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50
1 昼光制御	省エネ	住居部:カーテン、庇で制御		2.0	1.00	4.0	1.00
2 映り込み対策					-	-	-
3.3 照度				3.0	0.15	-	-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を使用する		4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能					-	3.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理					-	-	-
1 CO ₂ の監視					-	-	-
2 嘸煙の制御					-	-	-

Q2 サービス性能				—	0.30	—	—	3.4
1 機能性				3.1	0.40	4.2	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性					—			
2 高度情報通信設備対応	光ケーブル設置				—	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)					—	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					—			
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保	内装設計:適度な水を使用して洗浄可能、風除室のドア間隔の確保、維持管理が異なる床材を接近させない			4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30			
1 車体材料の耐用年数					3.0	0.20		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	45二丁掛タイル、ポーダータイル、アクリル吹付タイル、50角タイル		5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源				2.0	0.10		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源				3.0	0.10		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	排水:配管用炭素鋼管(白)、給水:ステンレス管・ポリエチレン管、給湯:ポリエチレン管、温水:ポリエチレン管		4.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔	省資源				2.0	0.20		
2.4 信頼性				2.8	0.20			
1 空調・換気設備					3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備					2.0	0.20		
3 電気設備					3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20		
5 通信・情報設備					3.0	0.20		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり				-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性	3.0	1.00					
1 空調配管の更新性		3.0	0.20				
2 給排水管の更新性		3.0	0.20				
3 電気配線の更新性		3.0	0.10				
4 通信配線の更新性		3.0	0.10				
5 設備機器の更新性		3.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)				0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化	建物の配置・形態等のまちなみへの調和、周辺の主要な視点場からの良好な景観形成	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-			2.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ		3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		2.0	0.10		-	2.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 1.03 —	2.7	0.50		-	2.7
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				-			
4.1 モニタリング	省エネ			-			
4.2 運用管理体制	省エネ			-			
集合住宅の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	2.6
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源		3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源		1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	LGS下地の採用	4.0	0.20		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		防止工事のプライマー採用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	1.00	-	-	
3 冷媒	省資源		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	省資源	LCCO ₂ 排出量91%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 悪化 削減		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		-	-	-	-	
2 污水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			1.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	冬期除排雪配慮、ロードヒーティングの確保	4.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency
CASBEE札幌



**重点項目
評価結果**

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要

建物名称	(仮称)シティーホームセントリック南11条 新築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-
建物用途	集合住宅				
延床面積	2,193.9 m ²				

2 重点項目への取り組み



3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 23.5 最低点 7.4)			合計	12.8点 / 23.5点
Q1 温熱環境	スコア 0.8 / 1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	2.4 / 4.0
Q1 光・視環境	スコア 1.0 / 2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	0.8 / 2.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア	5.4 / 10.0
		LR1 効率的運用	スコア	2.4 / 4.0
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.4)			合計	13.5点 / 23.7点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.7 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.7 / 9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.4 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 / 2.1
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.3 / 5.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア	2.1 / 4.2
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)			合計	8.1点 / 15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 / 2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.8 / 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.4 / 2.3			
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)			合計	3.0点 / 3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0 / 2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数